

令和3年度 学校図書館基本計画

足立区立栗原小学校 校長 田中 泰徳

1 学校教育目標

- ①つよい子：心も体も健康、明朗で根気のある子
- ②考える子：自ら学ぶ意欲をもち、話をしっかり聞き、よく考え正しく判断して行動する子
- ③やさしい子：礼儀正しく、思いやりの心があり、自然に親しみ生き物を大切にする子
- ④はたらく子：互いに助け合い、責任を果たし、みんなのために働く喜びをもつ子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①読書好きの子どもを増やし、確かな学力、豊かな人間性を育む。
- ②探究的な学習活動等を行い、子どもの情報活用能力を育む。
- ③授業で蔵書・新聞等を利活用し、思考力・判断力・表現力等を育む。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	①蔵書数 10,375冊（蔵書基準冊数 9,040冊）／ 蔵書率 114.7%									
	②新規購入図書 452冊 ／ 廃棄図書 0冊 ／ 増減冊数 452冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	5%	6%	10%	5%	2%	7%	2%	35%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	①開館時間：授業時、火曜日（中休、昼休）、金曜日（中休、昼休）									
	②児童一人あたりの年間貸出冊数 50冊 2/10 現在 （前々年度：44冊）									
	③1か月に2冊以上借りている児童 66%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①学校図書館の利用の仕方の基本的な知識・技能・態度を培い、喜んで資料の活用ができるようにする。 ②易しい読み物に興味を持ち楽しんで読書しようとする態度を育てる。 ③読書を通して豊かな心情を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①学校図書館を使う授業により、本を手にとる機会が増える。 ②学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③学校図書館の利用の仕方について知る。	①各クラス週1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②年間80冊以上（月間一人あたり8冊以上）の本を読む。 ③学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
第2学年	①学校図書館の利用の仕方の基本的な知識・技能・態度を培い、喜んで資料の活用ができるようにする。 ②易しい読み物に興味を持ち楽しんで読書しようとする態度を育てる。 ③読書を通して豊かな心情を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①各クラス週1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間80冊以上（月間一人あたり8冊以上）の本を読む。 ③学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

第3学年	①進んで学校図書館を利用する態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用できるようにする。 ②いろいろな読み物に興味をもち幅広く読書しようとする態度を育てる。 ③読書を通して豊かな心情を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①各クラス週1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間80冊以上（月間一人あたり8冊以上）の本を読む。 ③学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%
第4学年	①進んで学校図書館を利用する態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用できるようにする。 ②いろいろな読み物に興味をもち幅広く読書しようとする態度を育てる。 ③読書を通して豊かな心情を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本だけでなく、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①各クラス週1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間60冊以上（月間一人あたり6冊以上）の本を読む。 ③学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%
第5学年	①積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようにする。 ②適切な読み物を選び、考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。 ③読書を通して広い視野を身につけさせるとともに、豊かな心情を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間40冊以上（月間一人あたり4冊以上）の本を読む。 ③学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%

第6学年	①積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようにする。 ②適切な読み物を選び、考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。 ③読書を通して広い視野を身につけさせるとともに、豊かな心情を育てる。また、これからの生活に役立てる。
今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間40冊以上（月間一人あたり4冊以上）の本を読む。 ③学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ①前年度までに学年ごとの購入図書希望を聞き、5月までに図書館部が選書をする。
- ②新規購入図書の受け入れ、登録作業を8月中に完了させる。
- ③廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。
- ④学級用図書としてまとまった冊数を配置し、支援員と連携しながら前期と後期で本の入れ替えを行う。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ①学校図書館オリエンテーションを行い、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ②調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ③学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、図書室内の展示を工夫し、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。

【その他】

- ①通常時の貸し出し冊数は、一人2冊まで、長期休業中の貸し出し冊数は、一人3冊までを可とする。
- ②図書委員会の児童とともに図書の整理をし、休み時間に本の貸し借りをする。
- ③本の紛失を防ぐために、「図書室の約束」の指導の徹底を図る。
- ④職員会議等で学校図書館基本計画の方針を取り上げ、全教職員で共通理解する。